

開催レポート

2月20日(火)夜、富士河口湖町内にある複合レンタルスペース ATRAVEAT にて『ふじかわぐちこ移住トーク！富士山暮らし交流会「大人のともだちづくり」』を開催しました。



参加者は定員に達した17名、運営スタッフは富士山暮らし応援隊7名の計24名でした。およそ2時間半、第一部では4つのレクリエーションを通して親睦を深め、第二部では先輩移住者によるトークにて、移住に関するテーマでお仕事や富士河口湖町での過ごし方について伺いました。お子様から大人まで、移住した方や移住検討中の方、地元のスタッフが職業や立場を超えて繋がることができました。



2/20 Tue
18:40 集合
19:00 開始
21:00 終了

複合レンタルスペース「ATRAVEAT」

■開催目的

移住後の生活不安解消
移住への“新たな生活の準備”や“心の準備”
新たな人脈作りやコミュニティ作り
富士河口湖での新たな過ごし方、魅力の発見

■対象

すでに移住して、交流を持ちたい方(U・I・Jターン)
これから移住を考えている方
「富士山暮らし応援隊」の活動に興味をお持ちの方

■定員

16名(定員になり次第受付を終了します)

■参加費用

2,000円/名 *軽食・ソフトドリンクあり

■服装

動きやすい服装

■積雪等による中止の場合は、
当日の正午までにメールにて連絡します。

■内容

- レクリエーション
～なかよくなりましょ♪～
- 自己紹介ゲーム！
～ここでは日常なんです～
- 富士河口湖あるあるビンゴ！
～おとなの運動会～
- 玉転がし！
～割ったらhappy～
- 風船割り！
～先輩移住者トーーク！
～テーマトーーク！～

■お申込方法

申込フォームまたは電話
募集締め切り：2月13日(火)

お申込みはこちらから →

富士山暮らし応援隊事務局
(富士河口湖町政策企画課)
0555-72-1129

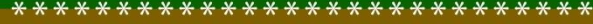


「富士山暮らし応援隊」とは、
富士河口湖町への移住を応援し、活動する団体です。

「ATRAVEAT」とは、
富士山暮らし応援隊のメンバーが経営する、
私営の“オシャレな公民館”です。
ビジネスと言っても企業同士のお硬いものから小遣い程度のハードルの低いものまで幅広く企画していきますのでお気軽にお越しください！代々お住いの方から移住されてきた方、Uターン・Jターン、すべての垣根を取っ払って富士河口湖町を盛り上げていけたら嬉しいです！



～ATRAVEAT経営 三浦さんからコメントをいただきました～
富士河口湖町民の方々にビジネスを通して繋がりある場としてATRAVEATを始動させました。ビジネスと言っても企業同士のお硬いものから小遣い程度のハードルの低いものまで幅広く企画していきますのでお気軽にお越しください！代々お住いの方から移住されてきた方、Uターン・Jターン、すべての垣根を取っ払って富士河口湖町を盛り上げていけたら嬉しいです！



先輩移住者 ～移住～
植野景吾(うへのけいご)さん
富士河口湖町地域おこし協力隊

東京都世田谷区出身。
文房具販売店で働いた後、農家を志して2022年に地域おこし協力隊として富士河口湖町へ移住。
現在独立に向けて研修中。
優しい農家のもと、土にまみれながら勉強の日々を過ごしています。



先輩移住者 ～二拠点居住～
さわだももこさん

SUPインストラクター/看護師
キャンプやヨガのイベントも随時開催
埼玉県に夫と娘(3歳)、犬1匹(トイプードル12歳)と共に住んでいる。
富士五湖の本栖湖に魅了され、看護師として総合病院に22年勤務していたが退職。昨年からは本栖湖のSUPガイドとして週末はキャンピングカーで山梨に、平日は埼玉に戻る2拠点生活をしている。SUPやCAMPに関する発信をSNSやラジオでほぼ毎日配信。オフシーズンは国内の湖や海でSUPをしている。現在は国際ヨガ資格であるRYT200取得のため勉強中。



先輩移住者 ～移住～
長瀬 貴寛(ながたきかひろ)さん
レストラン「ALBERGO del otto」経営

愛媛県宇和島市出身。食べて・呑んで・泊まれるイタリア料理レストラン「アルベルゴ」を夫婦で経営。プーリア州を起点に3年間イタリア料理を修行し、帰国後、南イタリア料理店で腕をふるう。2010年に山梨へ移住し、ケータリングサービスを開業。2019年ALBERGO del otto開業。「皿以外は焼きます」をモットーに、ゲストと話しながら美味しい料理を提供。南イタリアの伝統的な家庭料理のスペシャリスト。



第一部

レクリエーション

- レク①～なかよくなりましょ♪～「自己紹介ゲーム！」
- レク②～ここでは日常なんです～「富士河口湖あるあるビンゴ！」
- レク③～割ったら happy～「風船割り！」
- レク④～おとなの運動会～「玉転がし！」

～なかよくなりましょ♪～「自己紹介ゲーム！」は、自己紹介の中であらかじめ引いておいた質問カードに回答するというゲームでした。「大切にしている言葉は？」という質問には「愛です。愛があれば何でもできる。」というハートフルな回答があり、ほっこりしました。質問カードによる思いもよらぬ質問で、みなさんがお互いのことを知ることができ、短い時間で距離を縮められたように感じました。





～ここでは日常なんです～「富士河口湖あるあるビンゴ！」は、富士河口湖町の日常を表したキーワード 20 個を 16 マスにランダムに記入し、その後は参加者が順番にくじを引いてキーワードを読み上げ、ビンゴを行いました。「キーワード：茶コンビニ／解説：自然公園法により景観を維持するため、茶色の看板のコンビニが多い」など、解説すると「へー！」といった驚きの声もあり、キーワードに関連して富士河口湖町の日常を楽しく知っていただきました。

ここからはチーム戦です。～割ったら happy～「風船割り！」では 2 チームに分かれ、膨らんだ風船に貼られたキーワードシールをはがし、最初に割れたチームが勝利！というゲームでした。司会者の「よい、ドン！」の後、両チームともにバン！！と大きな音で風船が割れ、判定不可能。じゃんけんで勝敗を決めました。当日初めてのチーム戦で、大きな爆発音とともに会場のみなさんも大きな笑いにあふれ、とても和やかな雰囲気となりました。



最後のゲームは～おとなの運動会～「玉転がし！」。こちらもチーム戦で、2 人 1 組となり、ボールをペアでパスしながら次のペアに繋げるゲームです。大人になってからチームで一体となって競技するという機会は滅多にないからこそ、みなさんがさらに親交を深められたのを感じ、嬉しく思いました。

第二部

町の紹介

3人の先輩移住者によるゲストトーク・テーマトーク

植野景吾さん(地域おこし協力隊/定住)

さわだももこさん(SUP インストラクター・看護師/二拠点居住)

長瀧貴寛さん(宿泊できるレストラン「ALBERGO del otto」経営/定住)

町の紹介

全国的に人口減少が進む中、富士河口湖町の人口は増加しています。富士河口湖町の移住・子育て制度や世界文化遺産である富士山をはじめとした景観の美しさが背景にあることも理由の一つであることをお話しさせていただきました。



先輩移住者によるゲストトーク・テーマトーク

植野景吾さんは令和4年から地域おこし協力隊として農業に従事するため移住してきました。前職は文房具販売店で勤務していたとのこと。現在は独立に向けて、大石地区で活動しています。町内の学生や女子サッカーチームFCふじぎくらしんがのメンバーと農作業を通して交流を図ったり、毎月町の広報誌に農業の情報を掲載したりと、農業の魅力発信にも尽力しています。



さわだももこさんは、埼玉県と山梨県をキャンピングカーで行き来する二拠点生活を行っています。22年看護師として勤務していましたが、本栖湖の美しさに魅了されSUPのインストラクターに転身。コロナ禍で看護師として従事しながら自らの健康を見直すと共に、予防医療に興味を持ちはじめたそうです。そんな中、趣味のキャンプを通じて、自分が浄化されていることに気付いたそうです。本栖湖で活動しながらSUPやキャンプに関する情報をSNSやラジオにて配信しています。



長瀧貴寛さんは令和元年に大石地区に移住し、ALBERGO del otto を開業しました。宿泊できるレストランにて南イタリアの伝統的な家庭料理をご提供されています。できる限り地元の食材を使いたいのことで、こちらのレストランでは、「富士河口湖町ならではの南イタリアの料理」を食べることができます。「移住後に困ったこと」を質問しましたが、周囲の方の助けもあり、特に思い当たらないとのことでした。長瀧さんのお人柄の賜物ですね。



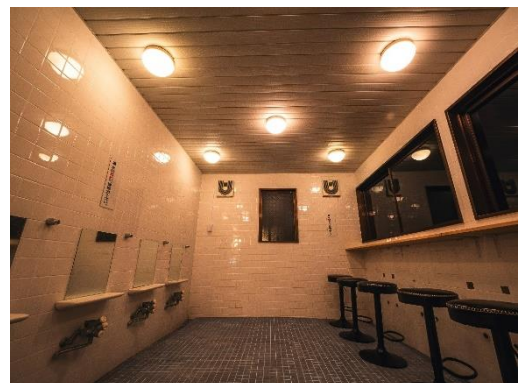
お話しいただいた方は、それぞれ農業・観光業(マリンスポーツ)・飲食業と業種も様々で、生活形態も移住や二拠点居住と異なっております。先輩移住者のトークを通して、参加者の方がそれぞれに合った生き方や富士河口湖町での過ごし方を発見していただけたかと思います。

また、相互交流の時間では、名刺交換をしながら所々で話に花が咲き、新たな交流の場となりました。



今回交流会を開催した施設「ATRAVEAT」は、富士山暮らし応援隊のメンバーの三浦範之さんが経営する、複合レンタルスペースです。テレワークや会議などビジネスでも、今回の交流会のようなイベントでも利用できる私営の“オシャレな公民館”です。2月23日(金)「富士山の日」にオープンしましたが、富士山暮らし応援隊の活動としてオープン前にお貸出いただきました。お部屋の内装はテーマ別で分かれていて

今回は「Forest」という人工芝のお部屋と、「Brooklyn」というニューヨークの街の名前が付いたお部屋をお借りしました。その日の気分によってお部屋を選ぶことができるのもこの施設の魅力です。



開催後の参加者様からは、「とても楽しかったです。充実した時間をありがとうございました」というお声から、「畑を探していたが、今回の交流会で知り合った方の伝手で畑が見つかった!」「移住検討中で仕事を探していましたが、この交流会をきっかけに就職先を決めました。」というお声をいただき、参加者様のお役に立つことができ富士山暮らし応援隊一同、嬉しく思います。

ご参加いただき、ありがとうございました。



「ふじかわぐちこ移住トーーク! 富士山暮らし交流会『大人のともだちづくり』」 概要

■移住者・移住検討中の方・富士山暮らし応援隊の活動に興味をお持ちの方を対象とした交流会

■日時・場所

令和6年2月20日(火) 18:40~21:00

複合レンタルスペース「ATRAVEAT」

■ゲスト

先輩移住者～移住～ 植野景吾さん／富士河口湖町地域おこし協力隊

東京都世田谷区出身。文房具販売店で働いた後、農家を志して2022年に地域おこし協力隊として富士河口湖町へ移住してきた。現在大石地区の農家のもと、独立に向けて研修中。地域おこし協力隊として毎月町の広報に農業に関する情報を掲載し、農業の魅力発信にも努めている。

先輩移住者～二拠点居住～ さわだももこさん／SUPインストラクター/看護師

キャンプやヨガのイベントも随時開催。埼玉県に夫と娘(3歳)、犬1匹(トイプードル12歳)と共に住んでいる。富士五湖の本栖湖に魅了され、看護師として総合病院に22年勤務していたが退職。昨年からは本栖湖のSUPガイドとして週末はキャンピングカーで山梨に、平日は埼玉に戻る2拠点生活をしている。SUPやCAMPに関する発信をSNSやラジオでほぼ毎日配信中。オフシーズンは国内の湖や海でSUPをしている。現在は国際ヨガ資格であるRYT200取得のため勉強中。

先輩移住者～移住～ 長瀧 貴寛さん／レストラン「ALBERGO del otto」経営

愛媛県宇和島市出身。食べて・呑んで・泊まれるイタリア料理レストラン「アルベルゴ」を夫婦で経営。プーリア州を起点に3年間イタリア料理を修行し、帰国後、南イタリア料理店で腕をふるう。2010年に山梨へ移住し、ケータリングサービスを開業。2019年ALBERGO del otto開業。「皿以外は焼きます」をモットーに、ゲストと会話しながら美味しい料理を提供。南イタリアの伝統的な家庭料理のスペシャリスト。